



本年度の活動について説明を聞く塾生たち

中高生「人間力」磨く

石巻専修大 耕人塾が開塾

地域社会に貢献する人材の育成を目的に、中高生を対象に石巻専修大が開講する本年度の「耕人塾」が18日、始まった。開塾式が東

松島市矢本東市民センターであり、中高生25人が「あいさつ・清掃・ごみ拾い」の三つの柱を実践して「人間力」を磨き、リーダーの志を養うことを誓った。

本年度で9回目。新型コロナウイルスの影響で開講が遅れ、恒例の宿泊研修や地域行事での活動を取りやめることが決まった。塾長で同大客員教授の木村民男

氏は「今こそできることを一緒に見つけて成長したい」とあいさつした。

耕人塾1期生で今月消毒会社を立ち上げた高橋智幸さん(25)は「東松島市」が講話し、「耕人塾で誰かのために協力して取り組む楽しさを学び、社長、野球の指導者など夢をかなえた。失敗を恐れず挑戦して」と呼び掛けた。

塾生は「主体、楽しさ、創造」をコンセプトに、自ら課題を設定して日常生活で実践し、12月までの計6回の活動で発表する。

石巻市青葉中2年阿部翔太さん(14)は「野球チームをまとめられなかった経験からリーダーシップを備えたくて参加した。積極的に行動し学びたい」と語った。